



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ横浜綱島ガーデンマクス	階数	地上5F
建設地	横浜市港北区綱島西四丁目352番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 竣工	評価の実施日	2018年3月14日
敷地面積	1,528 m ²	作成者	(株)嘉環境設計
建築面積	734 m ²	確認日	2018年3月14日
延床面積	2,513 m ²	確認者	(株)嘉環境設計

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 88%
 ③上記+②以外の: 88%
 ④上記+: 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6 **LR のスコア = 3.5**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	パッシブデザインを取り入れ、自然換気ができるように住戸の対面に窓を設けている。コージェネレーションシステムを採用し、建物の省エネルギー性能の向上に努めている。	その他
Q1 室内環境	専有部分について、断熱性能等級4としている。また、高い昼光率を確保し、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	断熱性能等級4、建物全体のBEI=0.81とし、省エネルギー性能の向上に努めている。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	標準的な配慮を行っている。	LR2 資源・マテリアル
Q3 室外環境 (敷地内)	外構緑化指数50.9%とし、室外環境について配慮した設計としている。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	LGST地下やノンフロンの断熱材を採用している。また、一部雨水を散水利用し、資源・マテリアルについて配慮した設計としている。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



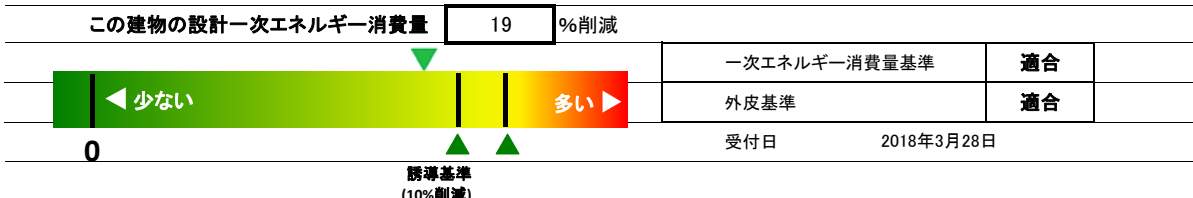
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **クリオ横浜綱島ガーデンマークス**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4

③BEI=0.81

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯主要3用途にB以上、Eは不使用(汚水排水・雑排水:硬質塩化ビニル管、給水:水道用ポリエチレン管)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱外構緑化指数50.9%

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	コジェネレーション・
エネルギーマネジメントシステム導入	_____
_____	_____